

突哨山運営協議会 2021年度 第1回協議会

2021年7月26日(月) 18:30～ 旭川市職員会館

1. 報告事項

出席者 出羽寛 黒川博義 塩田惇 桐一郎 澤田勇 工藤和彦
戸波登志子
旭川市公園みどり課 笹川主査 吉田主査
事務局 中村直人 富岡雅志

以上 個人6名 団体2名 事務局2名 計10名

出羽 最初に新しく運営委員になられた方がいらっしゃいますのでその方をご紹介します。戸波登志子さんです。簡単に経過を教えてください。

中村 戸波さんは今年の春の花案内人に参加していただいて、お友達から突哨山を守ってくださいと依頼をされているというお話を聞きまして、突哨山運営協議会の説明をしたら、ぜひやらせてくださいとお言葉をいただきまして、正式に運営委員の応募用紙を書きいただきました。前回の総会の時に事前に役員会行って総会で承認をいただいています。

出羽 みなさん現役の方は少ないですが、戸波さんは現役で仕事をしていらっしゃいます。運営協議会やイベントにできるだけ参加していただきたいと思います。保育園の園長先生ということで、そういった幼児教育や環境教育の面でアイデアを出していただきたいと思います。それでは各自自己紹介をお願いします。

(各自自己紹介)

出羽 それでは報告事項からお願いします。

- ① 活動報告(主催・共催)と写真 ※主催等の表記のないのは「運営協議会」が実施
・6月1日～5日 遊歩道閉鎖 カタクリ広場でクマのフンを確認



・ 6 月 4 日 村上神社ノスリ調査



・ 6 月 4 日 役員会議 トレイルランコース等について



・ 6 月 9 日 旭川医大中尾氏佐々木氏によるネズミ捕獲調査



- ・ 6 月 15 日 カタクリ広場草刈り（突哨山と身近な自然を考える会）
黒川・桐・中村



- ・ 6 月 16～22 日 遊歩道草刈り



- ・ 6 月 17 日 ぴぴの路入り口ニセアカシア伐採（もりねっと）



- ・ 7月6日～16日 遊歩道閉鎖 ピピの路でクマ撮影



- ・ 7月8日 近二小5、6年突哨山活動（もりねっと）
テーマ：水田の水の流れ 黒川さん、大雪土地改良区



- ・ 7月14日 近二小3、4年突哨山活動（もりねっと）東鷹栖14線の森
テーマ：外来種 黒川さん



- ・ 7 月 1 7 日 ぴぴの路外来種抜き取り作業
一般 4 名 澤田さん、桐さん、中村



- ・ 7 月 1 8 日 旭川側外来種抜き取り作業（旭川外来植物研究会共催）
一般 3 名（北の森づくり専門学院） 黒川さん、尾崎さん、中村



添付資料 1

中村 澤田さん外来種の抜き取り作業について何かありますか。

澤田 比布の方で抜き取り作業をはじめたのは 2016 年。そして去年、一昨年と協議会主催でやっていただきました。比布町の春の会議の時に、なんとか比布町として取り組めないかということを提案して、やりましょうという風に決まりました。それが 3 月のことです。その後具体的にどうやるのかという話をしたときに総務企画課が担当になったんですが、町の主催ではなく、主催は運営協議会で町はそれに協力するという形で進めていくことになりました。しかし運営協議会で決めた抜き取り作業の日は比布町でいろいろ行事があったために今年は前日の土曜日に実施しました。事前に町の広報に載せたり放送で参加を呼びかけたりしたんですが、結果的に役場の 3 人と小学 6 年生の男の子が参加しました。小学生の男の子は本当に小さな時からずっと参加している子です。親は、置いていきますからよろしくねをお願いしますという感じです。一生懸命作業をしてくれました。来年もまた実施できるように進めていきたいと思っています。

出羽 その子は心に残っているでしょうね。将来どういう方向にいくかわかりま

せんが。

中村 できれば突哨山の将来を託せる人になって欲しいですね。
この時は直前までクマの出没で閉鎖をしていましたので、実施できるかどうか2日ぐらい前まで分かりませんでした。それで広く参加の呼びかけができなくて参加の人数が少なくなっていました。早めに告知ができていればもう少し参加が見込めたのかなと思います。

- ・ 7月19日 近二小1、2年突哨山活動（もりねっと）東鷹栖14線の森
テーマ：森の昆虫 黒川さん



出羽 ここまでで何かありますか。ノスリについては後で道道のところでお話いたします。2ページ目の旭川医大の中尾さん佐々木さんのネズミの調査ですが、これはエキノコックスとの関連です。春光台のネズミからエキノコックスが出て、これは前から分かっていたんですが、突哨山、春光台、嵐山、旭山、神楽岡、その辺の調査をネズミでやっています。それから北大から来た研究者がキツネのフンを集めて、フンのDNAからその関連を調べています。おそらくあちこちから出てくる可能性があります。僕も多少関わっているんですが、ここ一週間嵐山、旭山で別な目的でネズミの捕獲調査をやったんですが、今年はネズミがすごく少ないんです。一昨年はものすごく多くて、嵐山はネズミを餌にするフクロウが4羽巣立ちました。今年はダメです。旭山は去年の春に5羽巣立ちました。今年やっぱりダメみたいです。嵐山でそんなに仕掛けてないですが今年獲れたのは2匹だけ。旭山でも1匹だけ。すごい少ないです。この中尾さん達の調査でも、データをもらっていますが4、5匹。今の時期はそう多くないということもありますが、秋になるともう少し多くなると思います。そういう状況で、調査をやっている人達や私達がエキノコックスについて何か情報を出すというわけにはいかないので、いずれ保健所とか市の方で何らかの形で出すということになると思います。そう恐れることはないんですが、どこかでキツネに餌をやったり、いろんな人がいるので、注意喚起や何らかの対応をしていただかないといけないのかなと思います。そういう場合、市の方はどこが対応するんですか。保健所かもしれませんが。

笹川 野生動物の管轄で言うと環境部になると思います。

出羽 おいおい何か考えていただく必要があると思います。そういう状況です。
あと何かありますか。なければ次のヒグマの対応についてお願いします。

② ヒグマの対応について

6 月から 7 月にかけてヒグマの出没による遊歩道の閉鎖は二回ありました。

- ・ 6 月 1 日～ 5 日（5 日間） カタクリ広場にてヒグマのフンを確認。その後、突哨山内での痕跡はなく閉鎖解除。
- ・ 7 月 6 日～ 16 日（11 日間） びびの路中腹のカメラでヒグマが撮影。その後、突哨山内での明確な痕跡がなく閉鎖解除。

添付資料 2

出羽 資料の中で、高速道くぐりがつながり、と書いていますが、これはアンダーパスのことですか。

中村 そうですね。

出羽 アンダーパスではまだ写ってないですね。

中村 アンダーパスにはカメラを設置していなかったんですが、最近比布町で 1 台設置しています。墓地の近くだと聞いています。今のところクマが写っていたという報告はありません。

澤田 今日カメラの確認に行ってきましたが写っていませんでした。

中村 車など別なものがたくさん写りますか。

澤田 お墓とつながっているので車が写りますが特に多くはないです。

出羽 石灰をまいている場所もありますよね。

中村 石灰をまいている場所もあります。

出羽 そういう状況ですね。今のところ突哨山は閉鎖されていませんが、旭川市内、美瑛川、忠別川、石狩川方面がクマの情報があって閉鎖になったりしています。

中村 今のところ跨道橋ではたくさん写っていますが、突哨山の中で痕跡があったりカメラに写ったりしている一番最近のものは 7 月 5 日のびびの路だけなんです。現状は警戒しながらオープンしている状況です。一週間に 2 回ぐらいカメラの点検に行っています。1 台は無線カメラを使っていて何か映るとメールで送られてきます。

出羽 これはオスのクマですね。

中村 この大きさはオスだと山本さんが言っていました。

出羽 今年も突哨山でコウモリ調査の申請は出しているんですが、まだやるかどうか検討中です。

中村 最後の記録は 7 月 22 日でけっこう出たり入ったりしているような感じです。突哨山の中に入っていないんですが、近くをウロウロしているようなので、突哨山に入られる際には十分ご注意ください。

出羽 一人で入らないというのは原則ですよ。

③ 突哨山を巡るランニングコース・サイクリングコースの設置について

旭川市観光スポーツ交流部観光課によってアイヌ文化の体験を意識したランニングコースとサイクリングコースが設置されたことを受け、役員会議を行いました。その後、旭川市の担当部署である観光課と意見交換を行いました。パンフレットを秋に再発行する予定なので、その際に走り方やコースへの配慮を記載したい、という回答です。マップの突哨山コース紹介自体の削除の可能性を聞きましたが、「一度作ったものなのでそれは難しい」という反応でした。秋に再協議する、ということになりました。役員会議の議事録を資料として添付いたします。

添付資料3

出羽 事務局でこの役員会議の議事録を作ってくださいました。かなり長いのであとで読んでください。そのあと協議会として意見書を出したほうがいいという形にはなっているんですが、その前に話を聞こうということで観光課の西原主査に来ていただいて、僕と山本さんと寺島さんと3人で話しました。話したことは突哨山のゴルフ場開発計画から始まって、いろんな市民運動があって、市と比布町が買い取った。それは自然環境を保全する目的で買い取った。ですから自然環境を主にした利用をベースにしているということを伝えました。それを理解してもらうことがまず一つ。それからコースはもう設定してしまっているんですが、全国でそういった大会をやるに相当な人数の人たちが相当なスピードで走るというのは問題がある。ただ突哨山は大会には使えなくて練習コースとして使っているようです。最近は嵐山も含めて時々見ます。クマのカメラにも時々写っているようです。そういう場所ですから自粛してもらうというともあり得たかもしれませんが、もう設定してしまっているということもあって、まずはその辺を十分理解してもらうということ。秋に、来年に向けてパンフレットを作り直すということです。そこで十分自然に配慮する、もしくはコースをどうするかということも含めて検討して、また話し合いを持ちたいというふうに思っています。そういう経過を辿っています。前から個人的に走る人はいまして、それはなんの問題もないと思います。僕も何回かトレランの練習で嵐山の下で走っている人と会いますが結構なスピードです。自転車の伴走がついていますが、そういうことは突哨山ではできません。車両の乗り入れは禁止ですから。そう言ったことも含めて、また市とも話し合いをしていきたいと思います。

これについて何かありますか。大量の議事録がありますが、まとめるのが大変だったと思います。あとで読んでおいていただければと思います。

笹川 観光課はどなたが対応したんですか。

出羽 西原さんという方が担当でした。

笹川 担当者だけと話されたんですか。課長には話はしてないんでしょうか。

出羽 していません。この方だけです。秋にはまた作り直すと言っているの折を見て。作ってしまってからでは遅いですね。

笹川 作ってしまったら撤回できないですから。

- 出羽 責任者が誰かというのは確認しておいた方がいいかもしれませんね。
- 吉田 最終的な意思決定は課の課長になりますので。パンフレットの作成ということになりますと当然、担当者個人の意思では作れませんので課として作るということになります。そうすると最高責任者は課長になると思います。そこに話が通っているかどうかですね。
- 出羽 主査というのは係長に当たるんですか。
- 吉田 職としては係長職です。観光課というのは基本的に係がないので係長というのがいないんです。
- 出羽 わかりました。
- 中村 秋に再協議するときには課長さんも同席してもらうようにお願いします。
- 笹川 実際に出席するかどうかは分かりませんが、出席を求めることで課長に話を通るといいます。
- 出羽 パンフレットを作る前の段階ですね。
- 中村 今回観光課さんとお話をしたのは、こちらから出向いていったのでなく、先方に来ていただいたんですね。
- 出羽 嵐山ビジターセンターで会いました。秋にもう一度協議したいと思います。

④ 花案内人ボランティア活動の報告

今年は4月29日から5月5日まで実施いたしました。報告は添付資料をご覧ください。

添付資料 4

- 中村 今年花案内人に参加していただいた戸波さん、参加した感想など何かありますか。
- 戸波 私が参加した日も二日間雨がずっと降っていて寒かったです。一日はご案内ができたんですが、一日はどなたもいらっしゃらなくて中村さんと遊歩道を歩きました。私的には楽しかったんですが、もっとたくさんの方にご案内できたらよかったです。協議会のメンバーでもまた参加してもよろしいのでしょうか。
- 中村 ぜんぜん大丈夫です。
- 戸波 また楽しみにしています。
- 出羽 僕はこの時期他とぶつかってほとんどできないんですが、昔栃木かどこからいらした方が財布を落としたということで男山から2往復ぐらい探したことがあります。結局見つかりませんでした。花案内どころじゃなかったんですが、そんな経験もあります。
- 中村 来年は全国から来られるような形になればいいですけど、どうなるんでしょうか。

⑤ ササカタクリ調査報告

今年度の笹カタクリ調査は5月18日に実施いたしました。調査内容に関しては添付資料をご覧ください。

添付資料5

中村 写真はドローンで撮っています。左側の写真はプロットがちょうど区画に入るように撮っていますが、右の写真は木の上から撮っています。プロット71は四角で囲んだ部分がプロットの場所です。プロット72の右側の写真は丸印になっていますが、ドローンを上にあげた時に木の下にあるプロットの場所が見えなくなってしまいました。それでおおよその場所を丸印で示しています。

出羽 左側の写真はどのぐらいの高さで撮っていますか。

中村 2m ぐらいでしょうか。

出羽 プロットの枠は一辺が2m ですか。

中村 2m×2mです。

次のページにそれぞれの数を記録したものが記載されています。

出羽 これは私もよくわからなかったんですが。

中村 これは2m×2mの区画をさらに50cm角に分けて、各マスにある数を数えています。①がカタクリの有花、②がカタクリの無花、③がエゾエンゴサク、④がササの数です。下の表は場所ごとの数を並べたものです。何か法則があるんじゃないかと色々考えてみたんですが、71番はどちらかというと日が当たる場所です。なので全体の数から言うと総数は416。72番は木の影に隠れて日当たりが悪いので総数が339と少ないです。その中でササとカタクリ、エゾエンゴサクをたした数の割合を出したら、71番がササ20.9%。カタクリとエゾエンゴサクを足した数が79.1%。大体2割、8割です。72番の方も全体の数は少ないんですがササ2割、カタクリ、エゾエンゴサクが8割とほぼ同じ割合になります。

出羽 これはもう何年やっているんですか。

中村 10年になります。

出羽 傾向と言ってもこのままでは難しいと思うんですが、ササの本数ですね。71の方が87本。ササは地下茎で繋がっているので何個体とは言えません。72が62本とそれほど違いはないです。これは極端に違うところでやるともうちょっとササのカタクリに対する影響など、そういうのが掴みやすかったかなと思います。それともう一つは本数ではなく、カタクリに対するササなどの影響を考えるのであれば被度。地面をどのぐらい覆っているかということ。カタクリは明るいところで育ちますから上の木とか、暗くなってしまうと衰退してしまいます。いろんな植物が何パーセントの面積を覆っているのかではなく、この場合ササが何パーセント覆っているのか。それを出しておく必要があると思います。それとの関係で見るともう少し見やすいかもしれないです。今後の課題として。ササはそれほど増えたり減ったりしていませんから。

中村 10 年間貯めたデータの移り変わりが次のページからのグラフになっています。これも数え方や時期がバラバラだった時もあったので正確ではないんですが。

出羽 71 番はササが増えてきていますね。72 番も増えてきていますか。

中村 72 番はやや減りつつあります。点線は平均値を表しています。

出羽 以前、突哨山と身近な自然を考える会で調査をしたときにササの広がり具合を調べたんです。稜線の明るいところで。そうすると1年間で1m ぐらいササの前線が広がって。ところが林内はほとんど広がらない、というのが表面から見るとそうですが、ササは複雑で、明るいところで光合成をして地下茎で伸びて林の中に栄養を送ることもできる。そんなこともやるみたいです。面白いし難しい植物です。被度などポイントを押さえた調査をやった上で検討するべきだと思います。これについて何かありますか。調査自体は誰でもできます。

⑥ 規約の改正について

前回の第14回総会において議決された改正案を規約に反映いたしました。

改正した項目

(改正前)

・第4条（委員）

第2項 市民委員は隔年に若干名を公募する。

第6項 任期は2年とし、再任を妨げない。

・第5条（役員）

第3項 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

(改正後)

・第4条（委員）

第2項 市民委員は毎年若干名を公募する。

第6項 任期は1年とし、再任を妨げない。

・第5条（役員）

第3項 役員の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

添付資料6

出羽 これは総会で決まったんですが、運営委員も役員も全て任期を1年に統一した方が単純で分かりやすいということで、規約改正をしています。これはよろしいですね。

⑦ 運営委員の名簿について

前回の第14回総会において承認された新委員、および役員を名簿に反映いたしました。

添付資料7

中村 公園みどり課さんの担当者については直したものを次回配布いたします。あと変更や間違いがありましたらお知らせください。

⑧ 旭川市観光課による観光マップ掲載とモニタリングの実施について

旭川市観光課では突哨山の観光マップ（ロゲイニングマップ）への掲載とモニタリング（ロゲイニングによるアンケート調査）を計画しています。

モニタリングの実施にあたり突哨山の山頂付近にチェックポイント機材を設置したいとのことです。

ロゲイニング (rogaing) とは地図、コンパスを使って、山野に多数設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内にまわり、得られた点数を競う野外スポーツである。オリエンテーリングと似ているものの、チェックポイントが多数設置されていること、チェックポイントを辿る順序が決められていないなどの違いがある。

添付資料8

中村 これについては公園みどり課の笹川さんの方から説明をお願いいたします。

笹川 観光課でトレランとサイクリングのパンフレットを作ったということは前回の議題にも上がっていたんですが、今回は散策マップを作りたいということで、あくまでも徒歩で回るためのパンフレットだと聞いています。イメージとしてはオリエンテーリングという形になるんですが、マップを持ってチェックポイントを回るというのが最終的な成果品として考えているんですが、それを作るにあたってモニタリングケースとして調査をしたいということなんです。突哨山の山頂付近にチェックポイントの機材を設置してモニタリングをしたいということで先日観光課から相談がありました。皆さんの方でどう考えるのかご意見を頂けたらと思います。

出羽 ロゲイニングという言葉が分からなくて辞書を引いてもないんですよ。それでいろいろ調べたらニュージーランドかどこかでこういうことを始め

た人が3人いて、その人たちの頭文字で作った言葉のようです。オリエンテーリングと似ていますが、オリエンテーリングは回る順序が決まっていますが、ロゲイニングは関係なくて、それからポイントで写真を撮るっていうのが多いんですが、それがどういうふうに点数化されるのかは分かりません。ネットで見ると、大会になると相当な人数が走るんですよ。やっぱり時間を競うんですね、競走で。だからこれはトレランと似たような部分があると思います。突哨山に1箇所だけポイントを作るということですか。

笹川 はい。そう聞いています。

出羽 ということは突哨山を含めた旭川の広い範囲にマップを設定するということなんでしょうか。

笹川 マップ自体は旭川全域で、チェックポイントの一つとして突哨山の山頂付近を考えているようです。

出羽 チェックポイントをたくさん作って。

笹川 はい。数十箇所という単位でチェックポイントを作るようです。

出羽 その一つを突哨山にするということですか。

吉田 数的には50箇所近く。あくまで候補としてなんですが。

出羽 まだやるかどうかは分からないんですか。

笹川 そうですね。そのためにモニタリングをしたいということです。

出羽 それも観光課で企画して、公園みどり課に相談に来ているということですか。

笹川 そうです。

出羽 ネットで見ると全国で何回かやっていて、すごい人数です。やっぱり走るんですよ。そして時間を競って点数を獲得する。だからトレランと同じようです。いろんな場所の一つとして突哨山ということですが、おそらく嵐山とか色々な場所が出てくるでしょうけど。トレランと同じような中身を含んできますので。まだ構想段階ということなんですが、そういうことが始まる前に話し合う場は必要だろうと思っています。

中村 チェックポイントを回って何かもらえたりするんですか。

吉田 今回は観光課さんの説明では市内に50箇所ぐらいチェックポイントを作って、何箇所か回って規定の数を回れば景品みたいなものが出るのかどうか、まだそこまでは決まっていないと思います。あくまでモニタリングをしてみてどうだった、というような参加者さんの感想だとかを受けて、チェックポイントの場所などを検証していこうというのが今回の目的です。

出羽 チェックポイントの機械というのはどのぐらいの大きさなんですか。

笹川 このぐらいです。

出羽 そんなに小さいんですか。

そのポイントで何を見るのかよく分からないんですよ。ネットで見るとそこで写真を撮るのが多いと書いていました。

笹川 ポイントで突哨山の情報を得るとか、そういうことではないです。

出羽 回ったという確認をするためですか。

- 笹川 そうです。
- 中村 メインのテーマはアイヌ文化を巡るということによろしいんですか。
- 笹川 そうですね。アイヌ文化の事業で行っているものですから。
- 出羽 トレランも同じで、本当にアイヌの文化をきちんと紹介することになるのかどうか。トレランは全くそんなことにならないと思います。予算があるからやるということだけでは問題があると思います。その辺はいずれにしる申し入れて話し合いをする必要があると思います。
- 中村 50箇所ぐらいあって、回っても何ももらえないんなら回る意味がよく分からないんですが。何かもらえるから一生懸命回ろうというのはよく道の駅などでやってますよね。
- 吉田 あくまでアイヌ文化にまつわる散策コースを検証するためのものです。
- 出羽 トレランとどういう関係があるんだろう。どちらもアイヌ文化ということ謳っていますよね。でも実際は、トレランはアイヌ文化とはあまり関係ないですよ。
- 中村 ロゲイニングがスポーツであれば人よりも多く回りたい、点数を競うんでしょうから、そしたらやっぱり走りますよね。
- 出羽 ネットで見ると出てきますが、数百人集まって一斉にやるわけです。
- 吉田 観光課さんの考えとしては50箇所の候補地をモニタリングで絞り込んで、そのチェックポイントを使ったたくさんの方が集まるようなイベントまで発展させたいのか、観光スポットとしてのアイヌ文化モデルの散策コースを紹介するマップ作りに活かしたいのか、今のところまだ分かりません。
- 出羽 分かりました。という状況だそうですが、場合によっては話し合いをしていく必要があると思います。これはよろしいでしょうか。
- 笹川 今回、そのためのモニタリング調査を9月5日にやりたいということが決定していて、その候補に突哨山を入れていいかどうかということをお聞きしたいです。
- 出羽 その資料はを見せていただけるんですか。
- 笹川 添付している資料8というのがそれです。
- 出羽 これではなく、詳しいものはありますか。
- 笹川 候補地の一覧などはまだお渡しできななんですけど。市内で50箇所ぐらいあるそうです。
- 出羽 皆さんどうでしょうか。50箇所の候補地がどんなところなのか知らないと分からないですね。
- 吉田 例で言うと突哨山のような場所だけではなく、博物館だとか。
- 出羽 これは観光課に直接申し入れたら資料をもらえるでしょうか。
- 吉田 観光課の方でいいと言えば。
- 出羽 分かりました。観光課に聞いてみます。
- ということでこれもやっぱり考えていかなければならないことだと思います。自然の中を歩いたり走ったりするのは必ずしも悪いことではないですが。

2. 協議事項

① 遊歩道案内看板の名称について

カタクリ広場口、および突哨山口に設置されている遊歩道の入口を示す案内看板について、今年度更新を予定しています。現在設置されている看板に書かれている文字は「突哨山散策路入口 A」「突哨山散策路入口 B」です。

これまで数回に渡りいろいろな議論が交わされましたが、これに記載する遊歩道の名称についてご検討お願いいたします。

これまで出された意見

・突哨山遊歩道 ・突哨山自然遊歩道 ・遊歩道

突哨山口（駐車場）



カタクリ広場



出羽 2箇所対象になっているんですが、国道沿いの突哨山口とカタクリ広場の2箇所です。現在の看板の表記はどうなっていましたか。

中村 突哨山散策路入口 A、突哨山散策路入口 B となっています。

出羽 突哨山口とかカタクリ広場口という表記はなかったですか。

中村 そういうふうには書いていないんです。ですので例えば、突哨山遊歩道突哨山口と書いて矢印とか、突哨山遊歩道カタクリ広場口とか、そういう形になるのかなと思いますが。

出羽 今まで何度か、突哨山全体の名称の問題もあって少しごちゃごちゃになったんですが、これは看板の問題です。いかがですか。工藤さん。

工藤 僕は突哨山自然遊歩道がいいかなと思います。そうなると遊歩道自体の名称が突哨山自然遊歩道となりますよね。

出羽 遊歩道は名前があるんですよ。カタクリルートとかびびの路とか。それぞれ名前がついているんです。

工藤 全体的な名称ではないですね。

出羽 ここで検討するのは全体の名称、入り口の名称ですね。突哨山散策路 A、B ではちょっとね。

中村 昔はそれで良かったんでしょうけども。

出羽 今、入り口はカタクリ広場と国道沿いと扇の沢とびびの路と4つありま

す。やっぱり突哨山口とかカタクリ広場口という名称は必要ですね。それに全体としての突哨山遊歩道とか突哨山自然遊歩道とか。突哨山自然遊歩道とかの名称があって、突哨山口とかというのが個人的にはいいと思います。いらないという意見もありましたね。前は秋までもう少し時間があるのでもう少し検討しましょうということになりましたが、皆さんの意見としてはどうですか。今、工藤さんは突哨山自然遊歩道で、その下に突哨山口とかカタクリ広場口ということですね。

工藤 そうですね、でもそれだと外来者の方にはよく分からないんじゃないですか。カタクリ広場口とか細かい部分のところは。

出羽 それはやっぱり一度歩いてみないと分かりませんね。

工藤 ですよね。駐車場に来て、突哨山自然遊歩道はこちらです、となっている方が単純で分かりやすくいいのかなと。それを入り口全部にしてあればいいと思うんです。来る人にとっては、あまり細かく説明しすぎると逆に分かりにくいと思います。

出羽 何々口というのは付けない方がいいということですか。

工藤 僕はいいように思いますけど、こちらの矢印でパッと行けばいいと思います。

出羽 入口名が無いとなると、どこから入るか。

工藤 入り口のところに何もありませんでしたか。森に入る入り口に何かありませんでしたか。でもそれはマップを見ればいいんじゃないですか。マップを手にとって来た人じゃないとそれは分からないことですよね。

出羽 これには突哨山口、カタクリ広場口、村上山公園口、扇の沢口というのは載っていますね。

工藤 でも僕の理論から言うと、この全てのいろんな名前のルート全体が突哨山自然遊歩道ということになりますよね。その問題を解決しない限りこの議論は進まないと思います。

出羽 遊歩道には名前はみんな付いているんですよね。それが全体の遊歩道のシステムになっています。その入り口はそれぞれある。今は入り口の看板の問題ですよね。

工藤 来た人にとって何が分かりやすいか、と考えた方がいいように思います。

出羽 まず、入り口から言うと、刑務所側からか、国道沿いからか、比布から行くか。そこに全体が分かるようなことが必要ですか。

工藤 単に突哨山自然遊歩道ということを説明すればいいだけなので。

出羽 どこですか。

工藤 入り口で、こちらです、という感じで。突哨山自然遊歩道はこっち、という感じの標識だけで事足りますよね。細かく説明しなくても。自分の現在地がどこかというのは入り口に地図があればいい。そもそもその地図がダウンロードできたりだとか、そういうことさえできれば判断つきますよね。

出羽 入り口名はいらない。

- 工藤 入り口名は、その場にその標識がある時点でいいと思います。
- 出羽 みなさんどうですか。工藤さんの意見の自然遊歩道というのはいいなと思ったんですが、個人的に。ただ、今の意見というのは初めてなんで。皆さんどうですか。
- 黒川 黒川さん分かりましたか。聞こえていましたか。
- 黒川 皆さんの意見が十分聞き取れないから。私はガイドマップの言葉をそのまま使うのがいいと思っています。自然遊歩道という意見がありましたが、それはそれでいいんですが、その後に私はやっぱり突哨山口とか、カタクリ広場口、扇の沢口というような、ガイドマップに書いてあるものをそのまま使って、共通するほうがいいと思っています。ここが入り口だよというのが分かっても、ガイドマップを見たときにどこの入り口だったか、というのではなく共通しているほうがいいと思います。
- 出羽 澤田さんどうですか。
- 澤田 難しいですね。例えば、突哨山口では国道沿いの駐車場に車を置いた人に案内をするということですよ。カタクリ広場ではカタクリ広場に来た人に案内をする看板なんだろうなということですよ。その場合に、例えば、春に比布のびびの路の入り口が分からないので、紙風船のところに、看板を建てるということを比布で考えて、桐さんと私で看板を設置したり外したりしてるんです。その時に村上山公園口に信号から左に曲がったら行くんですよとするか、突哨山の入り口にするか、迷ったんですよ。桐さんと話をして、びびの路とかそんなことを書かないで、突哨山ということにしました。細かいことをしなくても、突哨山に行けるんだということでもいいんじゃないかと。細かいことはいらんのかなと思います。
- 出羽 入り口名としては村上山公園口ですよ。
- 澤田 その看板には村上山公園という字は一切出ていません。突哨山に入る道だよと。
- 出羽 村上山公園口にはどういう看板があるんですか。
- 澤田 村上山公園口はそこに行ったら、村上山公園という看板が 4 号道路にあるんですよ。
- 出羽 びびの路は村上山公園に行くわけじゃないですもんね。
- 澤田 村上山公園に行く道ではありません。村上山公園に行く途中に村上山公園口があるんです。入り口に大きな看板があって、他の入り口は山に背が向いているんですが、びびの路のところは後ろが空いていたんですよ。それでもったいないからあそこだけ、町で設置したんですが、ようこそ突哨山へという表記にしたんですね。
- 出羽 そうするとマップから村上山公園口というのを取らないといけなくなりますね。
- 澤田 村上山公園口というのはちょっと。私はその時にびびの路入口という風に提案したんですが、却下された経緯があります。
- 工藤 突哨山の各入り口のところにカタクリ広場口とか表札みたいになってはいませんか。

中村 ないです。

工藤 それがあれば、そこがどこの入り口かというのは分かりますよね。今の話はその前の案内ですよね。

中村 扇の沢の方だけありますね。

出羽 突哨山駐車場で、突哨山遊歩道こちらという風になっていて、入り口のところにあれば。ぴぴの路の方は村上山公園口というのは確かに変ですよね。単純にそう考えたほうがいいですね。それと、これはもう少し検討しますが、異論を持つ人が今日は来ていないので、その人の意見も大事なもので。もう一つ、突哨山全体の施設名としては都市緑地突哨山ということでいいですね。

笹川 頭につく訳ではなく、区分として都市緑地といいことになります。都市公園の中の都市緑地です。

出羽 そういう形で押さえておくしかないのかなと思います。その辺は将来の問題ですけども。看板はそういうことで少し単純化して議論を残しておいてください。また検討します。

② 比布町道道建設工事に関する覚書について

これまで比布町の現町道の道道昇格および改良工事について、現地調査や情報交換を複数回に渡りおこなってまいりましたが、現時点で5項目に整理され、一定の方向性が確認されています。この内容について比布町より、突哨山運営協議会、比布町、道路管理者の3者で覚書を取り交わしたいと要望がありました。道路管理者は現時点で比布町ですが、道道昇格後は北海道となります。前回、覚書の(5)ノスリの営巣の項目で「付近の工事」について具体的な距離を示すべき、とのご意見をいただき、比布町と再度意見を交わしましたが、工事の工程などから具体的な距離を決めるのは難しく、「営巣が確認された場合には、工程や工事内容について3者で確認を行い」という文言に変更になりました。今回の協議会で承認をいただき覚書の調印を行いたいと思います。

前回からの変更点

(5) ノスリの営巣

工程や工事内容の確認を行い → 工程や工事内容について3者で確認を行い

添付資料9

出羽 最初の方にもありましたが、藤巻さんという北大を出て、鳥の研究をずっとされている方で旭川でも調査をして、突哨山では調査をしていないんですが、一緒に来ていただいて、ちょうどノスリがいまして、警戒音を出していました。営巣をしている可能性があったんですが、葉っぱが茂って分かりませんでした。秋になると営巣をしているかどうか、下に獲物が落ちているこ

とが多いですから、それで確認できるだろうということです。比布町もいろんな形で自然環境に配慮して。なにせ道が認定しなければ始まらない訳で、比布町としてはどうしても認定して欲しいという状況の中できた訳で。最後に残ったのがノスリの営巣の問題で、人の姿やそういうものにもものすごく敏感な鳥みたいです。藤巻さんの話だと、その状況にもよるけど、おそらく500mぐらい離れば大体大丈夫じゃないかと。あそこは途中に森があったりするのでそのぐらいの距離を開ければ大丈夫だろうと。最初付近という言葉だけだった。付近の工事は差し控える。ただし付近というのはどういうことなのか。業者によって100mだとか1kmだとかいろんな捉え方ができるので500mぐらいにしているかどうかということを申し入れたんですね。ところが実際の工事はそう単純に済まないんです。まず測量がありますね。測量のためにある程度木を切ったり杭を打ったりいろんな作業があります。それをそばでやれば確実に影響を与える訳です。工事そのものじゃなく、その時点からノスリに影響を与えない、その時期を外すと言うことが必要になります。しかしこの測量自体も一気に予算がついて全体を一気にできればいいけども部分的にしかできないということもあります。工事もそうですけども。ノスリの営巣時期と合わせてうまく組み合わせられるかどうか、単純じゃないということが分かったんです。営巣をしていれば測量の時期とかを外してやるとか、そこがちょっと複雑になりかねない。ということで、最初500mぐらいは離すということで申し入れたんですが、やっぱりそれは難しいので、工程や工事内容の確認を行い、ということになっていたんですが、工程や工事内容の確認を三者で行いと。三者というのは我々と比布町と道と、三者で確認を行い、という形で落ち着きました。ということでよろしいですか。ここまで何年もやってきています。実際に認定はまだで、認定されてから工事が始まるまで数年かかります。

中村 補足で説明しますと、三者というのは突哨山運営協議会と比布町と道路管理者なんですけども、今のところ覚書で調印するのは協議会と比布町長と、道路管理者は比布町長になっているんですが、これが道道昇格した時点で道路管理者は北海道になります。道道に昇格した時点で覚書の変更という形になると思います。

出羽 ということだそうです。よろしいですね。

③ 新ルートの設置について

2020年度第4回協議会（3月15日開催）で議案とした新ルートの設置のご提案についてです。谷渡りルートから「ウラヤマクラシテル」（工藤和彦さん宅、旧旭川温泉）へ抜けるルートです。谷渡りルートは稜線分岐から一部旧道を通っています。旧道はまっすぐ「ウラヤマクラシテル」に抜けていますが現在は使用されていません。ここに新しいルートができれば谷渡りルートへのアクセスが容易になりショートカットの周回ルートができます。ただし、工藤さん個人所有の土地を通ることになります。工藤さんからは了承を得ていますが、駐車場の整備などのためもう少し時間が欲しいとのことでした。

一度、皆さんで現地を視察していただきたいと考えていますが、秋の現地検討会に合わせて実施してはいかがでしょうか。

簡易図



黄色線：新ルート案

工藤 理想的な形としては、うちのところである程度敷地を広げて、そこに車を停めて上がれたらいいと思うんですが、うちの敷地も限られた敷地なので、そこに車が何台置けるかということ、春先にうちのギャラリーも結構車が混むんですよね。それと突哨山の人がぶつかっちゃうと結構駐車場が困るので。春先にうちがギャラリーをやっているということが分かってきたのか、トイレを借りに来る人が結構いるんです。うちは簡易水洗のトイレで、入ってくるのは断れない訳ですよ。トイレを貸して欲しいと言われれば、どうぞと言うしかない。それでも何か買っていく訳でもない。トイレを借りて出ていくみたいな感じです。トイレは無料ではないんですよ。汲み取りのお金もかかるし、トイレトーパーだってかかりますよね。そういったことをうちが負担し続けなければならないという状況は皆さんど言うふうに考えるのかなということと、駐車場もある程度土地を広げるよ

うにしているんですけども、うちも登り窯を焚く予定が年に何回かあるので原木を積んでおかなければならなかったりとか、薪を積んでおくスペースも必要なんですよね。そういったところで土地を提供するとか、それも無料で提供しなければいけないのか、そういう話になってくるので、もうちょっと時間をいただいてそこら辺をうまく解決できれば理想の形になっていくのかなと。僕もできるだけ突哨山の活動に応援したいと思っているんですけども、如何せん自分のところとどううまくそれができるのか考えていかないといけないのかな。多分、下の駐車場に停めて、そこから歩いて登ってきてくれと言うのが一番いいのかもしれないんですけども、やっぱり車を置くところがあったら置くと思うんですよね。そういった意味ではちょっと第二駐車場みたいな部分をうちが土地を広げるとか、そうしないとちょっとうちのあの範囲では難しいのかなと思ったりもしてるんですよね。

出羽 それと桐さんの意見、そういうのは必要かという。

桐それほど堅苦しく考える必要もないんだけど、やっぱり山に登るということはトイレを一番心配するでしょ。工藤さんにしてもトイレを有料にするのは難しいと思うんですよ。例えば無料にしても、地域の人が無料で駐車場も提供するという事になれば、やっぱり整理しなきゃならないですよ。そういうことから言ったら、今すぐというのは難しいということですけど、皆さんがどうしても必要だということであれば、僕はと言うことはできないですけど。

中村 澤田さん何かご意見ありますか。

澤田 私が言ったということを忘れてるぐらいなんですけど、谷渡りルートを歩くと、昔はそこに道路があったわけで、工藤さんがあそこに入る前の時代から知っているんですよ。そうすると懐かしいな、行ってみたいなという気持ちで言ったんです。今いろいろ聞くと大変難しい問題があるんだなあ。

工藤 あと駐車場というか、そこに入れるとなると時間を指定できないですよ。夜来て登る人もいるかもしれないし。それがちょっとどうしたものかなあというのがあります。

澤田 やっぱりいろんなことを考えると難しいですね。

出羽 あそこに池がありますよね。澤田さんから始まって、工藤さんの家の裏を通るのではなく、池の縁を回る道を作れないかということで、一度見に行こうとなったんですが、その辺が一つの魅力だったんだと思います。ただし今の話を聞くとちょっと難しいですね。

工藤 時間がかかりそうなんです。

出羽 むしろ突哨山のルートとしては木もれびの路のルートができてから周回はできる訳です。それをそこへ増やすかどうかというのは、むしろ工藤さんの方でどういう風に周辺を整備するか、そっちの方が主だろうと思います。その中でもう少し関われるかどうか。そうしないと駐車場の問題、夜の問題、トイレの問題、簡単にはいかないですね。

- 工藤 うちが上野ファームのような環境だったらいいんですけど。あのぐらい管理されていればいいんですけど。
- 中村 あそこは入場料取ってますからね。
- 澤田 歳をとってきた人間からすると国道の駐車場からダラダラ登るのがこたえるんです。ぴぴの路は車でパッと行ける。工藤さんのところの駐車場が使えると楽です。そういう単純な気持ちがあったんですが、難しい問題があるんですね。
- 出羽 これはしばらく置いて、工藤さんのところでの展開を少し考えた方がいいんでしょうね。
- 工藤 お互いがプラスになるような状況に持っていければいいかなと思います。
- 出羽 無理してやる価値はないですね。あそこでコウモリがあの池を水面スレスレに飛んで水を飲むんじゃないかと自動カメラを設置したんですがうまくいかなかった。そういったことはやってみたいと思いますが。
- 中村 これは保留ということにします。議題の文章の中に秋の現地検討会で皆さんで歩いたらどうでしょうと書いていますが、これは無しでいいですか。
- 出羽 歩くのはいいと思いますが。
- 中村 一度歩いてみましょうか。
- 出羽 池を見たことがある人はいますか。いないかな。
- 中村 笹やぶをこいでいくことになりますが。
- 出羽 そんなにこがなくても。池までは。
- 中村 それでは秋の現地検討会で様子を見るということにしましょうか。
- 出羽 これは保留というよりも将来の問題ですね。

2. 連絡事項

今後の予定

- ・ 9 月末頃 第 2 回協議会（去年は 9 月 28 日（月））

- 出羽 9 月 27 日月曜日、都合が悪い方はいらっしゃいますか。
では 9 月 27 日月曜日 6 時半からにしましょう。

- 工藤 ホテルドレミの看板はどうになりましたか。看板が一部落ちて、その報告はしてるんですね。
- 中村 報告はしています。
- 笹川 あそこは道路なので、道路管理課には報告をして、看板の所有者は分かっているんで連絡をしているということです。ただ、すぐに撤去しますという風にはならないかもしれないという話は聞いています。
- 工藤 ああいうのは耐用年数とか調べたら出てくるものなんじゃないんですか。更新時期とか。
- 笹川 そもそも、もうやっていない施設の看板なので速やかに撤去していただい

ればいいんですけども。

出羽 昔、扇の沢に土管がいっぱい積んであって、向こうの沢に農機具が捨ててあって、これは持ち主がわからない。でも結果的には持ち主を半年かな、探した上で市でやったんですが。1、2年かかりました。ただ、これは所有者がわかっているのでのどのようになるのか。

中村 今の段階ではお願いしかできないんですか。

笹川 そうですね。市が代行するということまでは来てないですから。

出羽 いよいよ強風で倒れるかもしれないですね。

工藤 車で通るので怖いんですよ。

中村 例えば看板が倒れて何か壊したとか損害を与えたということになると所有者の責任になるんですよ。

笹川 そうですね。

工藤 今ホテルの跡地は廃棄物の処分場にするとかで、ガラスを山盛りにしてあります。解体の仕事を始めるとかで。だからあそこがどうなっちゃうのかと心配です。

出羽 ということで今日は長くかかりましたがこれで終わりたいと思います。

以上